

歴史書

11

2006
No. 168



通 信

ベトナム再訪からの「発見」／白井洋子

歴史書新刊ニュース〈9・10月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈9・10月〉

歴懇リバイバル2006フェア書目・参加店一覧

歴史書懇話会

ベトナム再訪からの「発見」

—帰還米兵と戦場体験—

白井 洋子

(東京国際大学教員)

ベトナムに従軍した米兵が帰還後に戦場再訪の旅を始めたのは、戦争終結から10年ほど後のことである。最も初期の再訪者の一人に詩人・作家のW.D. エアハートがいる。彼は、再訪の理由について漠然とながらも次のように書いている。「地雷の恐怖なしに水田沿いを歩いてみたかった。瓦礫と死体の山にしてしまったフエの通りを歩き回り、コン・ティエンの非武装地帯を囲っていた鉄条網や戦場跡に青々と育っている稲を見てみたかった」。

1966年に17歳で海兵隊に志願入隊し、67年2月初めにベトナムに派遣されたエアハートは、1年後のテト攻勢時にフエの戦場で負傷する。帰還後、従軍への誇りとはほど遠い、恥と怒りと罪の意識に苛まれた。その怒りが正当なものであったことを1971年に暴露された「ペンタゴン・ペーパーズ」によって知らされる。次の作品は戦争終結の頃に書かれたものである。

「鬼がくるよ」¹⁾

あの人たちは今、私のことを
思い浮かべているのだろうか
アジアの見知らぬ村々で
そこには何ひとつ
人間らしいものは見あたらない

背を屈めるようにして隊列を組み
かれらのあいだを通り抜けていく
私と、恐ろしい顔つきをした

私の仲間たち以外には
あの人たちが子どもたちに
悪さをする子は
鬼に連れて行かれるよと論ず時には
その姿を私に重ねているのだろうか

この作品で元海兵隊員の詩人は、ベトナムの人々の眼には自分たち米兵が土足で入り込んできた侵入者、悪魔、「鬼」として映っていたのだろうかという、これまで想像したこともないほどの不安と恐怖を吐露している。1985年12月に再びベトナムの地を踏んだ詩人は、南部クチに一人の老婦人を訪れたときに、その不安と恐怖の現実に直面した。

「ナ夫人に捧ぐ」²⁾

いつも自分に言い聞かせてきた
もし戻ることがあっても
“I'm sorry”とは言わないと
誰にも。何てこった、
あいつら*を前にテレビで見たんだ：
ハノイでの姿を、カメラが追い回す
泣きじゃくり、涙声を
行く先々で。ほんとうに、
“I'm sorry.” 決して
そんなつもりじゃなかったんだ。

それに20年近くも昔のことなんだ：
 もう十分じゃないか。
 もし戻るとしても
 いつも自分に言い聞かせてきた
 顔をしっかりと上げ
 そして相手の目を見るんだと。
 しかし今ここに立ち――
 そしてあなたがいる。
 この戦争で息子5人を失ったあなた。
 子供を全て奪われてしまったあなた。
 私は自分の手を見つめるだけ
 ただ涙をかみ殺し、
 必死に言葉を探している
 “I'm sorry” に代わる言葉を。

*1981年、戦後最初にハノイを訪れた4人の
 帰還兵達。この時の様子はテレビニュース
 で全美に流された。

ベトナムを再訪した大半の帰還兵にとって、主たる目的は、戦場で落命した戦友を悼むとともに、今は平和となったかつての戦場を見ることで戦争の悪夢を払拭することにあった。米軍と米兵の残虐行為には今も心痛む。しかし戦争だったのだから仕方なかったのだと割り切ったつもりでいた。ところがあれだけ固く誓ってきたはずの決心も、一人の老婦人を前にした時には跡形もなく消え失せてしまった。元兵士は、相手に目を合わすどころか、こうべを上げることさえできずに、ただうなだれ、言葉もなく、自分たちはこの土地の人々にとって侵略者の「鬼」でしかなかったことをはっきりと悟ったのである。10年来認めたくもなかった不安に対して、再訪の旅でみずから出した答えが、この「ナ夫人に捧ぐ」だった。

ベトナム人犠牲者への謝罪の気持ちはみずからの加害性への自覚を土台としなければ生まれえない。兵士の手記や資料文献を読む限り、ベトナム再訪の目的を最初から謝罪においていた元兵士は少なかったろうと思われる。まずはみずからの苦痛からの脱却と癒しを求めたものがほとんどである。もちろんその苦痛とは、無抵抗の農民、老人や女性や子どもを殺戮したことの代償に他ならなかった。加害の罪を認め、受け入れることが、結果的に戦争後遺症としてのPTSD（心的外傷後ストレス障害）の克服につながったといわれる。克服への序曲や伴奏曲として、平和を取り戻したベトナムの地とそこで生活再建のために奮闘している人々の姿を自分の目で確認することの意味は大きかった。

この再訪の旅、エアハートの同行者は、ともに詩人で元陸軍兵士と良心的兵役拒否者だった。一行が驚いたのは、ベトナム知識層の少ない人たちがすでに1980年代はじめに米国で制作されたベトナム戦争を回顧するテレビ番組を観ていたこと、詩人や文学者のなかにはトウエインやフォークナー、ヘミングウェイのみならず帰還米兵の詩集までも愛読していた人たちがいたことである。若い作家の集まりでエアハートはベトナム語に訳されていた「鬼がくるよ」の朗読を求められた。ハノイでの詩人グループとの会談で、ある老齢の詩人が「鬼」の詩のベトナム訳コピーを取り出してきて、「どなたの作品ですか」と尋ねてきた。彼は

ベトナムで最も敬愛されている詩人の一人テ・ハンで、エアハートもその名を知っていた。私です、と答えると、詩人は『ベトナム文学』と英文で書かれた分厚いアンソロジーを開いてエアハートに差し出し、微笑みながら「ここを読んで下さい」と指で示した。「地下壕で」³⁾というテ・ハン詩の最初と最終の節を引用する。ベトナムで「鬼」の詩が親しまれていた訳がそこにあった。

南の子どもたちへの爆撃が止んだら、
また地上に行ってもいいかしら？
なぜ同じことを訊くの、おちびさん
空を見たいの、母さん、雲も青いの？
太陽を見たいの、

ほんとうに金色をした光なの？

……（中略）

爆撃が止んだら

また地上に出してもらえるかしら？
なぜ同じことを聴くの、おちびさん
大好きなおじさんとおばさんに会
たいのなもの

みんな今も戦っているの、母さん？
見てみたいの、ヤンキーを、母さん
それって人間に似ているの？

近年、相次いで刊行されている元日本軍兵士の手記を読むと、米国のベトナム帰還兵のものとの共通点に気づく。元日本兵が中国大陸から、そして元米兵がベトナムからも帰った戦場体験は、ともに重度のPTSDを発症させた。米国が、第二次世界大戦中の日本軍のアジア諸国における残虐行為から学ぶことは多かつたはずである。それができな



クチにある地下壕の一つ 入り口は小柄な大人が辛うじて通れるほど

った理由の一つに、日米ともに兵士の側から戦争をとらえる視点がなかったこと、二つには、みずからを「鬼」だったと自覚するにはあまりにも硬直した皇国軍隊思想に日本人が閉じこめられていたことが挙げられるだろう。しかしどちらの戦争にも、思い出したくもない戦場体験と真っ向から向き合い、長い苦しみの果てにその戦争の本質を見抜き、みずからの加害性に目覚めた帰還兵士がいたという、忘れられてはならない事実がある。侵略戦争を引き起こした自国と自国民、そしてみずからを「再発見」する旅、それが戦場再訪だったといえよう。

表紙写真：ベトナム戦没者記念碑「黒い‘壁’」。拙著『ベトナム戦争のアメリカ—もう一つのアメリカ史』（刀水書房、2006）カバー写真より

詩の出典：1)2)はW.D.Ehrhart, *Beautiful Wreckage* (Adastra Press, 1999), 作者の許可を得て筆者訳で掲載。3)は同、*Going Back: An Ex-Marine Return to Vietnam* (McFarland, 1987) から引用。なお「鬼がくるよ」は拙著『ベトナム戦争のアメリカ』に既出。

新刊ニュース

9・10月発行図書 ＊発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

平成の大合併県別市町村名事典

浅井建爾著

A5判 384頁 2,625円 東京堂出版〔9月刊〕

平成の大合併で3200余りあった市町村は1822に減少した。本書は多くの新地名も含め、全国すべての市町村名を収録し、現在の各市町村の特色・概略を紹介。 4—490—10700—5

大宰府古代史年表

付 官人補任表

川添昭二監修 重松敏彦編

菊形 700頁 16,800円 吉川弘文館〔10月刊〕

536年～1155年の大宰府関係記事を集成。対外関係、西海道地域との関わり、観世音寺の歴史、平安後期大宰府官人の動向がわかる。 4—642—01433—0

歴史の描き方 1

ナショナル・ヒストリーを学び捨てる

ひろたまさき・キャロル・グラック監修／酒井直樹編
四六判 256頁 2,625円 東京大学出版会〔10月刊〕

「近代日本像」を、現時点の言語状況とつきあわせて再検討し、あえて大胆に、近代「日本」像、あるいは反「日本」像を描き出すことをこころみる。 4—13—025016—7

歴史の描き方 2

戦後という地政学

ひろたまさき・キャロル・グラック監修／西川祐子編
四六判 288頁 2,625円 東京大学出版会〔10月刊〕

「戦後」とは何か。「アメリカの影」やそれに張りついたナショナリズムの《おじれ》に目を凝らし、近代「日本」像の相対化という意志の生い立った磁場そのものを問題とする。 4—13—025017—5

歴史の描き方 3

記憶が語りはじめる

ひろたまさき・キャロル・グラック監修／富山一郎編
四六判 288頁 2,625円 東京大学出版会〔10月刊〕

戦争や植民地主義をめぐる証言、体験、表象の書き換えを手がかりとしながら、自覚的に歴史叙述するための方法論あるいは方法意識の全面的な刷新を追究していく。 4—13—025018—3

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

現代考古学事典・縮刷版

安斎正人編

A5判 464頁 3,045円 同成社〔8月刊〕

考古学研究を進める上で欠かせない100テーマを厳選し、最新情報を網羅し解説した「読む事典」。2004年刊行版を好評により縮刷化。 4—88621—369—3

生業の考古学

藤本 強編

B5判 380頁 12,600円 同成社〔9月刊〕

日本はじめ世界各地の「生業」にまつわる種々のテーマを考古学的に追究した、第一線研究者の手になる気鋭の論考20数篇を収録する。 4—88621—367—7

古代住居のはなし

歴史文化セレクション

石野博信著

四六判 276頁 2,310円 吉川弘文館〔10月刊〕

古代のびとは、どのような家に住み、どのような生活をしていたのであろうか。発掘成果をもとに、住居の構造や村のしくみを解明する。 4—642—06302—1

壁画古墳の研究

網干善教著

A 5判 352頁 7,140円

学生社〔10月刊〕

高松塚古墳から、キトラ古墳、朝鮮・中国の古墳まで、壁画古墳は何を語るか？ 星辰図や四獣、十二支像まで、古墳壁画に秘められた古代日本の謎を探る。 4—311—30490—0

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

キーワードで引く古事記・日本書紀事典

武光誠・菊池克美編

四六判 258頁 2,940円

東京堂出版〔9月刊〕

「古事記」「日本書紀」に出てくる神々や皇族・豪族をはじめ、神社や寺院、制度や祭祀、当時の衣服や装飾品など、約700項目を取り上げ、解説した。 4—490—10699—8

後北条氏家臣団人名辞典

下山治久編

A 5判 754頁 15,750円

東京堂出版〔9月刊〕

100年間にわたり、関東に君臨した戦国大名後北条氏の当主とその一族・夫人・重臣・中小の家臣のほか、僧侶・職人・芸人など1600人を家別に収録する。 4—490—10696—3

秀吉の天下統一戦争

戦争の日本史15

小和田哲男著

四六判 292頁 2,625円

吉川弘文館〔9月刊〕

調略や講和、抜群の経済力・機動力、さらに専業武士の大軍勢で相手を圧倒。秀吉不敗の戦術に迫り、天下統一戦争が残した功罪を問う。全23巻刊行開始。 4—642—06325—0

東北の争乱と奥州合戦

「日本国」の成立 戦争の日本史5

関 幸彦著

四六判 284頁 2,625円

吉川弘文館〔10月刊〕

伝説の宝庫である前九年・後三年・奥州合戦の実態とは。幕府の首長がなぜ常に征夷大將軍なのかを考え、東北と源氏の戦争の全貌に迫る。 4—642—06315—3

展望日本歴史11 室町の社会

第22回配本（全24巻）

久留島典子・榎原雅治編

菊判 432頁 5,250円

東京堂出版〔9月刊〕

室町幕府・天皇・都市・在地…、各般からの研究が進む室町幕府研究。本書では、室町幕府・在地社会・都市と交通・対外関係の四章に分け、17論文を収録。 4—490—30561—3

奥山荘城館遺跡

日本の遺跡15

水澤幸一著

四六判 192頁 1,890円

同成社〔9月刊〕

40近い城館遺構が確認されている旧奥山荘地域において、その位置関係や豊富な土器・宗教関連遺物などから中世東国荘園の姿を追求する。 4—88621—370—7

妻木晩田遺跡

日本の遺跡16

高田健一著

四六判 184頁 1,890円

同成社〔10月刊〕

鳥取県大山山麓に広がる国内最大級の弥生集落遺跡。広範に調査された保存状態の良い遺構群によって弥生集落の具体的な姿が確認できる。 4—88621—373—1

ステップアップ 古文書の読み解き方

天野清文・実松幸男・宮原一郎著

A 5判 208頁 2,520円

吉川弘文館〔9月刊〕

古文書を読むにあたって必須となる言葉や用法30例を厳選。くずし字解説の基礎を、分かりやすくマスターできる待望の古文書入門書。 4—642—07967—X

売券の古文書学的研究

瀧澤武雄著

A 5判 340頁 6,825円

東京堂出版〔9月刊〕

奈良時代から江戸時代に作られた売券につき、様式の変化や付帯条件の変化を多数の文書を掲げて論究した。文書に解説、解釈を加え、補注を付す。 4—490—20594—5

平城京木簡 三

二条大路木簡一 (別冊「解説」付)
奈良文化財研究所編集・発行
B4判 186頁 27,300円 吉川弘文館(10月刊)

日本古代史研究に画期をなす第一級史料「二条大路木簡」の正報告書第一冊。高画質の高精細印刷を駆使して、原寸大で完全に復元する。 4-642-02405-0

国司の館

古代の地方官人たち
田中広明著
四六判 216頁 2,310円 学生社(9月刊)

装束や腰帯具などから浮かび上がる古代の役人たちの姿、国司の館と生活、牧と荘園、『将門記』と平将門の実像など、考古学から古代の実像を解明する。 4-311-20300-4

「大化改新」の史料批判

山尾幸久著
A5判 528頁 9,975円 塙書房(9月刊)

律令国家への体制的転換である「大化改新」が歴史的事実かどうか、『孝徳紀』のなかの詔を逐一吟味し、客観的に考察。

4-8273-1205-8

古代出雲

歴史文化ライブラリー219
前田晴人著
四六判 300頁 1,995円 吉川弘文館(10月刊)

神々の原郷といわれる八雲立つ出雲国を、神話の世界から解き放つ。多くの謎に包まれた史実を明らかにし、古代出雲人の生活に迫る。 4-642-05619-X

古代・中世のイエと女性

明石一紀著
四六判 315頁 3,990円 校倉書房(9月刊)

マルクス主義家族論の批判的検討と、社会人類学の非単系社会論をふまえた古代親族観と、新しい第三の女性史像の提起、という三視点から見解をまとめた。4-7517-3770-8

中世社会史料論

五味文彦著
A5判 426頁 10,500円 校倉書房(10月刊)

中世の社会を探るための史料論に関わる論考をまとめたもので、「明月記」「吾妻鏡」の根本史料から「菅我物語」「梁塵秘抄」の文学まで多数を論じた。 4-7517-3780-5

日本中世の所有構造

西谷正浩著
A5判 720頁 17,350円 塙書房(10月刊)

主として土地に基づく所有の分析を通して、日本中世独特の所有構造—所有の仕組みとそれを成り立たせた思考—を解明する。

4-8273-1206-0

公家と武家Ⅲ

王権と儀礼の比較文明的考察
笠谷和比古編
A5判 440頁 8,190円 思文閣出版(10月刊)

国際日本文化研究センターで行われている、公家(貴族)と武家に焦点を合わせた共同研究のシリーズ第3弾。今回は王権と儀礼に注目する。17篇収録。 4-7842-1322-8

織豊期の茶会と政治

竹本千鶴著
A5判 400頁 7,875円 思文閣出版(9月刊)

織田信長の茶会の場を通して、信長政権の支配構造の一端を明らかにし、「大名茶湯」という中世武家社会で発展していった茶湯の歴史を解明する。 4-7842-1318-X

中世東国政治史論

佐藤博信著
A5判 456頁 11,550円 塙書房(9月刊)

これまで研究が手薄であった、室町・戦国期の東国の政治・文化・宗教に関わる基本的な問題を検討。さらに戦国期の後北条氏以外の諸氏について考察する。 4-8273-1207-9

首都の経済と室町幕府

早島大祐著
A5判 360頁 8,400円 吉川弘文館(10月刊)

京都の首都としての性格に着目し、社会の実態を解明。室町幕府の財政、在地社会の経営構造などを考察し、幕府の権力基盤を検討する。 4-642-02858-7

戦国織豊期の貨幣と石高制

本多博之著

A 5判 360頁 10,500円 吉川弘文館〔10月刊〕

15世紀末から16世紀末、貨幣はいかに流通していたのか。銭貨通用の実態、銀の社会浸透、米の機能などを具体的に考察する。

4-642-02857-9

中世武士の城

歴史文化ライブラリー218

齋藤慎一著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館〔9月刊〕

天守閣はなかった！ 武勇ではなく安穩を求めた社会の現実を踏まえ、戦争の場だけではない中世の城の新たな実像に迫る。城郭ファン必読。

4-642-05618-1

江戸のくずし字、いろは入門

菅俊俊輔 (古文書塾てらこや講師) 監修

A 5判 144頁 予価1,260円 柏書房〔10月刊〕

まずは「いろは」から始める究極のくずし字入門。江戸のかな文字が読めると、江戸時代の文学作品が原典で読めるようになります。

4-7601-3025-X

江戸時代の身分願望

身上りと上下無し 歴史文化ライブラリー220

深谷克己著

四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔10月刊〕

近世人の出世願望と平等意識とは。〈身上り〉と〈上下無し〉からこれまでの身分制の見方を超えた社会を描き、自由と平等の関係を考える。

4-642-05620-3

近世農民生活史 新版

歴史文化セレクション

児玉幸多著

四六判 400頁 2,730円 吉川弘文館〔9月刊〕

江戸時代、日本人の大部分は農民だった。その日々の暮らしや村の環境など、農民と農村の全てが分かる不朽の名著、待望の新版で甦る。

4-642-06301-3

列島史の南と北

近世地域史フォーラム1

菊池勇夫・真栄平房昭編

四六判 280頁 3,780円 吉川弘文館〔10月刊〕

日本の南と北に存在する〈周縁領域〉。琉球の境界性、樺太先住民交易とアイヌなど、南北地域の特質を東アジア世界との関わりから解明。

4-642-03415-3

岩倉使節団における宗教問題

山崎渾子著

A 5判 250頁 3,990円 思文閣出版〔9月刊〕

岩倉使節団は、その後の明治政府の宗教政策にどのように影響を与えたのか、『米欧回覧実記』を中心とした使節団関係史料を読み込むことで検証する。

4-7842-1316-3

ちゃんと知りたい！ 日本の戦争ハンドブック

歴史教育者協議会編

A 5判 240頁 2,940円 青木書店〔9月刊〕

戦争体験者が教育現場からいなくなったいまこそ必要なハンドブック。これならわかる近代日本の戦争（日清・日露～アジア太平洋戦争）と植民地支配の歴史と現在。

4-250-20621-1

長野県の歴史散歩

歴史散歩20

長野県高等学校歴史研究会編

B 6変型判 328頁 1,260円 山川出版社〔10月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。

4-634-24620-1

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

ドイツの歴史【現代史】

ドイツ高校歴史教科書

中尾光延監訳

A 5判 696頁 7,140円 明石書店〔9月刊〕

受動的な学習のためではなく、異なる歴史記述の例示や多様な資料を通じ「世界史としてのドイツ史」を学習者自らに構築させることを目標とした学修書の翻訳。 4-7503-2387-X

シルクロード華麗なる植物文様の世界

MUSAEA JAPONICA 5
古代オリエント博物館・松岡美術館・横浜ユーラシア館編
A 5判 128頁 1,700円 山川出版社〔9月刊〕

葡萄唐草や蓮華文などをはじめ、地中海からアジア各地にシルクロードを通して伝わり、人々に親しまれてきた植物文様の展開を追う。 4-634-64821-0

向かいあう日本と韓国・朝鮮の歴史 前近代編 上巻

歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編著
A 5判 260頁 2,940円 青木書店〔10月刊〕

日本と韓国の歴史教師が5年にわたり議論を重ね、まとめた日韓の歴史。先史時代から鎌倉新仏教の展開まで18テーマを、多数の図版とともに描く。 4-250-20617-3

向かいあう日本と韓国・朝鮮の歴史 前近代編 下巻

歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編著
A 5判 260頁 2,940円 青木書店〔10月刊〕

日本と韓国の歴史教師が5年にわたり議論を重ね、まとめた日韓の歴史。儒教（性理学）の展開から近代の幕開けまで17テーマを多数の図版とともに描く。 4-250-20618-1

古代ギリシア 地中海への展開

学術選書016・諸文明の起源7
周藤芳幸著
四六判 270頁 1,890円 京都大学学術出版会〔10月刊〕

ミケーネ文明の隆盛期からヘレニズム期まで、地中海世界へと大きく展開した古代ギリシア文明を、主題ごとに雄大なスケールで俯瞰する。 4-87698-816-1

近代とホロコースト

ジークムント・バウマン著
四六判 344頁 3,885円 大月書店〔9月刊〕

この本でバウマンが提出したテーゼは近年のホロコースト研究に多大な影響を与えた。 4-272-43069-6

ドイツの労働者住宅

世界史リブレット75
相馬保夫著
A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔10月刊〕

19世紀のドイツでは多くの人がとが職を求めて都市や工業地帯に移り住んだ。そこに生きた労働者の住宅から、当時の社会問題と民衆の生活を明らかにする。 4-634-34750-4

イタリア・バロック 建築と美術

世界歴史の旅
宮下規久朗著
A 5判 176頁 2,940円 山川出版社〔10月刊〕

17世紀に華開いたバロック芸術。本書はバロックの概説書であるとともに、カラヴァッジオやベルニーニらの作品を現地のイタリアで味わうためのガイドブック。 4-634-63350-7

史料で読む アメリカ文化史5

アメリカ的価値観の変容 1960年代-20世紀末
亀井俊介・鈴木健次監修／古矢旬編
A 5判 416頁 4,725円 東京大学出版会〔10月刊〕

ヴェトナム戦争と公民権運動は、アメリカ民主主義に深刻な内省を迫り、バクス・アメリカナを大きく揺るがせる。1960年代以降、9.11まで、アメリカ的価値の変化を探究する。 4-13-025045-0

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

日本人の朝鮮観

その光と影
琴兼洞著
四六判 312頁 3,780円 明石書店〔9月刊〕

近世以降の日本の代表的な人物60人が朝鮮をどのようにとらえていたか。日韓・日朝関係に問題が山積する今、真の理解に向けて何が必要なかを考える。 4-7503-2415-9

風土記探訪事典

中村啓信・谷口雅博・飯泉健司著
菊判 320頁 3,990円 東京堂出版〔9月刊〕

現存する五風土記（常陸・出雲・播磨・肥前・豊後）に逸文もまじえ、地名の由来や神話・伝承など、興味深い記事を採り上げ、地図と写真を多用して紹介。 4-490-10698-X

帝都復興と生活空間

関東大震災後の市街地形成の論理

田中傑著

A 5判 512頁 10,290円 東京大学出版会〔10月刊〕

震災後の東京の都市計画的課題と復興計画からその成長と限界までを、豊富な文献調査とGISを用いたデータ解析から明らかにする。

4—13—066200—7

権者の化現 天神・空也・法然

佛教学大蔵文化叢書⑯

今堀太逸著

四六判 310頁 2,415円 思文閣出版〔9月刊〕

日本国の災害と天神、六波羅蜜寺の信仰と空也、浄土教の布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うためにこの世に現れた仮の姿について明かす。 4—7842—1321—X

信仰と他者

寛容と不寛容のヨーロッパ宗教社会史

深沢克己・高山博編

A 5判 322頁 5,880円 東京大学出版会〔10月刊〕

普遍宗教としてのキリスト教により統合されつつも闘争と融和が錯綜するヨーロッパ中世から現代を舞台に、「他者」を容認することの意味、寛容とは何かを解明する。

4—13—026128—2

大系真宗史料 特別巻

絵巻と絵詞

真宗史料刊行会編

B 4判 248頁 33,600円 法蔵館〔9月刊〕

第一部では親鸞伝絵の主要五本をはじめ重要文化財指定の真宗関係の絵巻を全巻カラー、第二部では絵詞の代表的古写善本の全文をモノクロで掲載。初公開品多数。担当=小山正文 4—8318—5050—0

戒名のはなし

歴史文化ライブラリー217

藤井正雄著

四六判 192頁 1,785円 吉川弘文館〔9月刊〕

なぜ、死んだら戒名が必要なのか。「戒名」の原点について、歴史を遡りながら考える。知っているようで実は知らない、戒名の謎に迫る。 4—642—05617—3

日本社会における仏と神

速水 侑編

A 5判 340頁 10,500円 吉川弘文館〔9月刊〕

教学継承や教団過去帳、寺社修造事業、伝承や入寺慣行、神の相貌の変化などについて考察し、今後の研究を深化させる新視点を提示する。 4—642—02452—2

平安仏教と末法思想

速水 侑著

A 5判 370頁 10,500円 吉川弘文館〔10月刊〕

空也と源信、密教修法、霊場参詣勧進と末法思想など摂関・院政期の時代観・末法観を解明し、新たな平安仏教史研究の指針を示す。 4—642—02453—0

江戸狂歌本選集 第14巻 人名索引

第14回配本（全15巻）

人名索引刊行会編

A 5判 232頁 15,750円 東京堂出版〔8月刊〕

近世後期、江戸で夥しく刊行された狂歌本のうち、資料的に価値の高い74編を収録する。収録作品に収められた狂歌作者名約15000人の五十音索引。 4—490—30581—8

仮名草子集成 第40巻

花田富二夫・中島次郎・柳沢昌紀編

A 5判 308頁 18,375円 東京堂出版〔9月刊〕

案内記・評判記・教訓物・笑話など、多様な仮名草子を網羅すべく約250編を収録する。本巻には「女四書」「新語園」（巻1～巻5）を取める。 4—490—30538—9

近代芸術家の表象

マネ、ファンタム＝ラトゥールと1860年代のフランス絵画

三浦篤著

A 5判 464頁 8,190円 東京大学出版会〔9月刊〕

「ポスト・リアリスト」たちの新たなリアリズムの模索を、「芸術家像」という切り口から分析する19世紀フランス絵画史。図版280点。 4—13—080207—0

増訂 古伊万里の誕生

古九谷論争の再検討

伊藤和雅著

A 5判 428頁 16,800円 吉川弘文館〔9月刊〕

古九谷焼が肥前有田で製作されたという通説を再検討し、加賀が誕生の地であることを実証。古九谷焼＝有田産論争に一石を投じる。 4—642—07905—X

図説 雅楽入門事典

芝祐靖監修

B5判 248頁 9,975円

柏書房〔9月刊〕

雅楽の源流から現代の雅楽が確立するまでを紐解くとともに、楽器の構造と役割、装束、曲目を分かりやすく解説。写真、絵巻、図版満載。総ルビ付。 4-7601-2856-5

ジェンダー史を学ぶ

長野ひろ子著

四六判 224頁 2,625円

吉川弘文館〔10月刊〕

「性差」や「文化的・社会的性」と訳されるジェンダー。その概念が日本に導入された際の困難を辿り、ジェンダー史成立までを描く。 4-642-07969-6

日本災害史

北原系子編

四六判 484頁 4,410円

吉川弘文館〔9月刊〕

飢饉、地震、噴火、津波、台風…。古代から現代まで、人々はいかに災害を乗り越えてきたのか。災害から日本社会の様相を読み解く。 4-642-07968-8

ユートピアとウマレキヨマリ

宮田登 日本を語る 8

宮田 登著

四六判 260頁 2,730円

吉川弘文館〔9月刊〕

隠れ里、よみがえり、山岳信仰、天道念仏、たたり。民話や芸能の死後の世界観から、民衆に伝わる理想郷、生まれ変わりの思想に迫る。 4-642-07140-7

都市の民俗学

宮田登 日本を語る 9

宮田 登著

四六判 240頁 2,730円

吉川弘文館〔10月刊〕

新たに語り出される都市伝説とは何か。辻の神、梅若説話、番町皿屋敷、赤マント、口裂け女…。都市民俗学の先達が語る不思議空間の物語。 4-642-07141-5

都市の暮らしの民俗学 1

都市とふるさと

新谷尚紀・岩本通弥編

四六判 272頁 2,940円

吉川弘文館〔9月刊〕

地方の人間は都会に憧れ、都市の人間は田園を懐かしむ。都市と地方の関係はどう変化してきたのか。県人会、ふるさと観光などから探る。 4-642-07964-5

都市の暮らしの民俗学 2

都市の光と闇

新谷尚紀・岩本通弥編

四六判 250頁 2,940円

吉川弘文館〔10月刊〕

魅惑に満ちた光の世界と繁華街の暗闇。盛り場と酒、京都の町と祭礼、モードの街＝原宿、老舗、在日外国人の暮らしに、その多様な姿を探る。 4-642-07965-3

伝記

日本古代中世人名辞典

平野邦雄・瀬野精一郎編

四六倍判 1248頁 21,000円

吉川弘文館〔10月刊〕

卑弥呼・日本武尊・聖徳太子から織田信長・細川ガラシャまで。約1500年間に活躍した個性あふれる多彩な人物3372人を網羅！

4-642-01434-9

徳川光圀

人物叢書244

鈴木暎一著

四六判 336頁 2,205円

吉川弘文館〔10月刊〕

「水戸黄門」の名で知られる二代水戸藩主。『大日本史』編纂など、起伏に富んだ生涯を活写して、従来の光圀像を捉え直した本格的伝記。 4-642-05237-2

雑誌

日本歴史 10月号（第701）＝9月刊
11月号（第702）＝10月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 780円 吉川弘文館〔9・10月刊〕

重版

新稿社寺参詣の社会経済史的研究

新城常三著

A 5判 1452頁 31,500円 塙書房〔9月刊〕

平安貴族の御獄詣・熊野詣や中世の武士、近世にいたる民衆の参詣等を焦点に社寺参詣の発展と衰退、社会経済上の根拠、信仰内容等を総合的に論証する。 4—8273—1056—4

万葉集相聞の世界（オンデマンド版）

伊藤博著

B 6判 274頁 2,835円 塙書房〔9月刊〕

文学史的態度を基本とし、表現論、背景論、編纂論などを統一する方法から、万葉集を彩る相聞歌の消長の歴史、古代男女の相聞歌の実態を究明する。 4—8273—3503—6

源氏物語論（オンデマンド版）

清水好子著

B 6判 278頁 2,835円 塙書房〔9月刊〕

河海抄の準拠に導かれて源氏物語の骨組みの確かさを知ったという著者が、注目すべき独自の源氏観・紫式部観を展開。源氏物語の本質を精微に描く。 4—8273—3550—8

王朝女流文学の形成（オンデマンド版）

秋山虔著

B 6判 262頁 2,730円 塙書房〔9月刊〕

小町、伊勢御、道綱母、これら王朝前期女流作家の文学活動の独自性をとらえ、その精神が形成されていく姿を解明する。 4—8273—3557—5

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2006. 9・10

—青木書店—

- 死にたくない！ いま、生活保護が生きたとき 現代のテキスト 竹下義樹・吉永純編著
 A 5判 1,995円 9月
- これでもガマンする？ 労働弁護士的事件ノート(仮) 東京労働法律事務所編
 A 5判 予価1,995円 10月
- <ジェンダー>をめぐる闘い(仮) 唯物論研究年誌 第11号 唯物論研究協会編
 A 5判 予価3,675円 10月

—明石書店—

- 非武装中立論 石橋政嗣著 大塚英志解説.....四六判 1,890円 9月
- 1たす1は2にならない 三浦つとむ著.....四六判 1,470円 9月
- こころとことば 三浦つとむ著.....四六判 1,890円 9月

—大月書店—

- 民営化という名の労働破壊 現場で何が起きているか 藤田和恵著
四六判 1,470円 9月
- レオナルド・ダ・ヴィンチ マーティン・ケンフ著.....四六判 2,940円 10月
- 不安定を生きる若者たち 日英比較 フリーター・ニート・失業 乾彰夫著
 A 5判 1,890円 10月
- 忘れられた地域史を歩く 近現代における差別の諸相 藤野豊著.....四六判 2,520円 10月

—柏書房—

- 図書館のプロが教える<調べるコツ> 誰でも使えるレファレンス・サービス事例集
 浅野高史+かながわレファレンス探検隊著.....四六判 1,890円 9月

—京都大学学術出版会—

- 「恋愛」の誕生 12世紀フランス文学散歩 (学術選書015) 水野 尚著
四六判 1,575円 9月
- 身体フランス文学 吉田 城・田口紀子編..... A 5判 4,725円 9月
- ソクラテス以前の哲学者たち G.S. カーク、J.E. レイヴン、M. スコフィールド著/内山勝利ほか訳
 A 5判 5,985円 10月

—東京大学出版会—

- 日本の貧困研究 橋木俊詔・浦川邦夫著..... A 5判 3,360円 9月
- 学歴と格差・不平等 成熟する日本型学歴社会 吉川徹著.....四六判 2,730円 9月
- 山口晃が描く東京風景 本郷東大界隈 山口晃画.....四六変型判 1,575円 9月

Horizonte 東京大学ドイツ語教材 東京大学教養学部ドイツ語部会編	菊判	1,995円	9月
Horizonte [テキスト+2CD] 東京大学ドイツ語教材 東京大学教養学部ドイツ語部会編	菊判	3,150円	9月
Promenades En France et ailleurs 東京大学フランス語教材 東京大学教養学部フランス語部会編	菊判	1,995円	9月
Promenades [テキスト+2CD] En France et ailleurs 東京大学フランス語教材 東京大学教養学部フランス語部会編	菊判	3,150円	9月
臨床心理学の倫理をまなぶ 金沢吉展著	A 5判	3,360円	9月
ユーゴ内戦 政治リーダーと民族主義 月村太郎著	A 5判	3,990円	9月
デフレ下の賃金変動 名目賃金の下方硬直性と金融政策 黒田祥子・山本勲著	A 5判	5,040円	9月
官のシステム 行政学叢書4 大森彌著	四六判	2,730円	9月
ユビキタスでつくる情報社会基盤 坂村健編	A 5判	2,940円	9月
魯迅を読み解く 謎と不思議の小説10篇 代田智明著	四六判	3,360円	10月
ゲーデルと20世紀の論理学2 完全性定理とモデル理論 田中一之編	A 5判	3,990円	10月
経済地理学 立地・地域・都市の理論 松原宏著	A 5判	5,040円	10月

— 同 成 社 —

エネルギーの将来と水素社会 若狭湾沿岸地域総合講座叢書6 敦賀短期大学地域交流センター編	B 5変型判	546円	8月
特別支援教育のさんすう 小笠 毅編著	A 5判	1,600円	9月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会ホームページ	
http://www.hozokan.co.jp/rekikon/	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
大月書店	http://www.otsukishoten.co.jp/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
京都大学学術出版会	http://www.kyoto-up.or.jp/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴懇リバイバル2006

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に考古学、宗教史、東洋史、国文学、歴史社会学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2006年9月30日現在13社49点。

主催：歴史書懇話会

発売：2006年10月上旬

青木書店	03-5997-4051	東京堂出版	03-3233-3741
校倉書房	03-3203-4851	刀水書房	03-3261-6190
大月書店	03-3813-4651	同成社	03-3239-1467
学生社	03-3857-3031	塙書房	03-3812-5821
京都大学学術出版会	075-761-6182	法藏館	075-343-5656
思文閣出版	075-751-1781	吉川弘文館	03-3813-9151
東京大学出版会	03-3811-8814		

※著者名につづく（ ）は初版年、出版社名につづく〔 〕は分類を示します。

東京裁判ハンドブック

東京裁判ハンドブック編集委員会編（1989）

A 5判 312頁 4,200円 青木書店〔現代史〕

極東国際軍事裁判（東京裁判）と各地のBC級戦犯裁判の経過・判決・処遇など、その内容を具体的かつ平明に解説する。

4—250—89013—9

飢死した英霊たち

藤原彰（2000）

四六判 240頁 2,625円 青木書店〔現代史〕

日本軍戦没者のうち140万人が餓死だった！補給の途絶、降伏の禁止によって強いられた「名誉の戦死」の実相を、膨大な資料を駆使して明らかにする。

4—250—20115—5

記憶から歴史へ

P. トンプソン著／酒井順子訳（2000）

四六判 592頁 5,040円 青木書店〔歴史学〕

文献史料には現れない、マイノリティや女性をはじめ庶民の日常の姿などを、聞き取りによって再構成する歴史研究の手法オーラル・ヒストリー。

4—250—20220—8

銭貨

前近代日本の貨幣と国家 【もの】から見る日本史
池享編（2001）

A 5判 224頁 3,150円 青木書店〔日本史〕

貨幣を媒介に、人々はいかなる社会関係を築き、また国家は、いかなる貨幣政策を展開してきたのか。貨幣の役割を日本と東アジアのなかに位置づける。

4—250—20626—2

日本中世の国政と家政

井原今朝男著（1995）

A 5判 598頁 14,700円 校倉書房〔中世史〕

古代国家から継承した小規模な国政機関と新たにつくりだされてきた家政機関（公卿や寺社などの権門の行う家産経営）との分裂と統合の歴史として分析した。

4—7517—2460—6

南京大虐殺を記録した皇軍兵士たち

第十三師団山田支隊兵士の陣中日記

小野賢二ほか編（1996）

A 5判 414頁 6,300円 大月書店〔日本史〕

兵士の日記には、南京攻略戦や捕虜の「処理」について何が書かれていたか、兵士とその遺族を訪ね歩き発掘した資料が現代史の論争に決着をつける。

4—272—52042—3

南京事件の日々

ミニ・ヴォートルンの日記

笠原十九司解説（1999）

四六判 232頁 2,520円 大月書店〔日本史〕

いのちの危険をかえりみず、日本軍占領下の南京で性暴力の嵐から一万人以上の中国人女性を救ったアメリカ人教師が、狂気の支配する戦場でつづった日記。

4—272—52059—8

古代出雲大社の復元

大林組プロジェクトチーム編（1989）

四六判 260頁 2,310円 学生社〔古代史〕

48メートルもの高さを誇ったという謎に満ちた「古代出雲大社」そして巨大柱根の発見。大林組の技術者たちがコンピュータを駆使して挑んだ古代史像の真実。

4—311—20236—9

日本全国古墳学入門

土生田純之編（2003）

A 5判 256頁 2,940円 学生社〔考古学〕

古墳とは何か？古墳から何が分かるか？古墳の特色と変遷、遺物、文献などから、古代日本の文化、政治を解き明かす。全国の古墳を地図入りで詳しく解説。

4—311—30047—6

京大東洋学の百年

礪波護・藤井譲治編（2002）

四六判 296頁 2,520円 京都大学学術出版会〔東洋史〕

内藤湖南から吉川幸次郎に至る8人の代表的な学究をとりあげ、その生涯と業績を綴ることによって1世紀におよぶ「京大東洋学」の歩みをたどる。

4—87698—439—5

朝鮮通信使の研究

李元植著 (1997)

A 5判 730頁 15,750円 思文閣出版〔日朝交流史〕

江戸時代、日本と朝鮮の善隣外交において根幹をなしていた朝鮮通信使—数多くの貴重な文献・史料の検証から、政治外交と文化交流の両側面を捕える。 4—7842—0863—1

増補 蓮月尼全集

村上素道編 (1980)

菊判 710頁 12,600円 思文閣出版〔日本近世文学〕

江戸末期の歌人である大田垣蓮月。歌、消息、伝記を取めた昭和2年版に、新たに発見された歌集、書画帖(花くらべ)、消息51通を増補した昭和55年版の復刊。4—7842—0182—3

中国医学思想史

石田秀実著 (1992)

四六判 352頁 3,780円 東京大学出版会〔医学史〕

身体は自然に向かって開かれた気の流れの東であり、病いも一つの有機的なコスモスの中にある。もう一つの医学の可能性を問う本格的な思想史。 4—13—013037—4

カクレキリシタンの信仰世界

宮崎賢太郎著 (1996)

A 5判 316頁 5,090円 東京大学出版会〔文化史〕

カクレキリシタン信仰とは、過去の滅びた宗教ではなく、生きて変化を逃がっているものである。カクレキリシタン信仰の変容を追い、その本質に迫る労作。 4—13—010402—0

南北戦争と国家

長田豊臣著 (1992)

A 5判 280頁 6,090円 東京大学出版会〔文化史〕

南北戦争を契機に急速に連邦政府の機能が拡大し、「国家」と「国民」が創造された。この内戦がもたらした「国家形成」の過程とはいかなるものかを描く。 4—13—026105—3

古文書解読事典 (改訂新版)

大石学監修 (2000)

A 5判 448頁 2,940円 東京堂出版〔古文書〕

第1部では江戸時代の形式の異なる古文書を紹介し、第2部では入門者のために古文書の読み方を示し、第3部では文書館を利用する際の知識を紹介した。 4—490—10559—2

古代豪族系図集覧

近藤敏喬編 (1993)

菊判 470頁 9,450円 東京堂出版〔系図〕

日本人の源流をなす神々と皇統、古代豪族の系図を可能な限り追求した大系図集。人名には注記を付し、異説についても懇切な注解を施した。索引付き。 4—490—20225—3

平安時代儀式年中行事事典

阿部猛・義江明子・相曾貴志編 (2003)

A 5判 386頁 6,825円 東京堂出版〔文化史〕

平安時代の宮中を中心とした、200を越える儀式年中行事を、月別に並べ、儀式の流れ、歴史の変遷、意義を解説する。268の出典の解題と用語900を解説。 4—490—10624—6

修験道辞典

宮家準編 (1986)

A 5判 560頁 10,290円 東京堂出版〔民俗宗教〕

日本の宗教や文化と深くかかわる修験道の全貌を体系的に解明すべく1500項目を収載し、綿密に編纂。解説のほか文献目録をはじめ、14種類の付録を収む。 4—490—10216—X

お伽草子事典

徳田和夫編 (2002)

菊判 560頁 7,140円 東京堂出版〔文化史〕

中世後期から近世初期のお伽草子から450作品と関連項目100を取め、物語としての興味や文学史的意義、時代環境、研究の現況などを解説する。年表付き。 4—490—10609—2

日蓮辞典

宮崎英修編 (1978)

B 6判 374頁 3,675円 東京堂出版〔宗教〕

危機的な社会状況の中で法難や迫害に対し、敢然と法戦を展開した日蓮の生涯の事蹟とその思想や著作など750項目を取め、日蓮の宗教の全貌を明らかにした。4—490—10109—0

家と同族の歴史社会学

藤井勝著 (1997)

A 5 判 358頁 10,185円 刀水書房〔歴史社会学〕

第1回日本村落研究学会研究奨励賞受賞。有賀・喜多野論争に続き、家と同族を歴史の実証的に論じ、日本社会の根源に迫る。近世村落にヨコの関係を発見。 4—88708—206—1

入門者のための考古学教室 改訂版

山岸良二著 (1995)

四六判 240頁 1,995円 同成社〔考古学〕

考古学に興味を持っている人、これから学びたいと思っている人に、旧石器時代から江戸時代までをカバーしながら、わかりやすく概説する考古学入門書の決定版。 4—88621—372—3

井戸の考古学

鐘方正樹著 (2003)

A 5 判 208頁 3,885円 同成社〔考古学〕

井戸は考古学の宝庫であり、過去と現在をつなぐタイムトンネルともいえる。建築技術・構造的視角から分析し、東アジアの広がりの中でその展開を追究する。 4—88621—284—0

新稿社寺参詣の社会経済史的研究

新城常三著 (1982)

A 5 判 1452頁 31,500円 塙書房〔中世史〕

平安貴族の御獄詣・熊野詣や中世の武士、近世にいたる民衆の参詣等を焦点に社寺参詣の発展や衰退、社会経済上の根拠、信仰内容等を総合的に論証する。 4—8273—1056—4

万葉集相聞の世界 (オンデマンド版)

伊藤博著 (1959)

B 6 判 274頁 2,835円 塙書房〔国文学〕

文学史的態度を基本とし、表現論、享受論、背景論、編纂論などを統一する方法から万葉を彩る相聞歌の消長の歴史、現実生活における実態を解明する。 4—8273—3503—6

王朝女流文学の形成 (オンデマンド版)

秋山虔著 (1967)

B 6 判 262頁 2,730円 塙書房〔国文学〕

小町、伊勢御、道綱母、これら王朝前期女流作家の文学活動の独自性をとらえ、その精神の形成する姿を解明する。著者往年の名著蜻蛉日記を含む。 4—8273—3557—5

源氏物語論 (オンデマンド版)

清水好子著 (1966)

B 6 判 276頁 2,835円 塙書房〔国文学〕

河海抄の準拠に導かれて源氏物語の骨組みの確かさを知ったという著者が注目すべき独自の源氏観・紫式部観を展開。文学の本質を精緻な筆で描き出す。 4—8273—3550—8

日本人の身体観の歴史

養老孟司著 (1996)

四六判 328頁 2,310円 法蔵館〔社会思想史〕

日本の中世、近世、そして現代哲学の心身論から西欧の身体観までを論じる。固定観念、常識をくつがえし、人と世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。 4—8318—7227—X

新・八宗綱要

大久保良峻ほか編 (2001)

A 5 判 346頁 3,570円 法蔵館〔史料〕

律宗、法相宗、天台宗、華嚴宗、真言宗、禅宗、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗の概説、主要典籍と人物、教養についてコンパクトに解説。 4—8318—7370—5

親鸞の家族と門弟

今井雅晴著 (2002)

四六判 210頁 1,890円 法蔵館〔史料〕

唯円、恵信尼、善鸞、関東の弟子たち、三代目覚如—豊富な史料を平易に読み解き、親鸞の生涯とその家族および弟子たちのリアルな実像を描く。 4—8318—7482—5

増補 吾妻鏡の方法

事実と神話にみる中世

五味文彦著 (2000)

四六判 348頁 2,310円 吉川弘文館〔日本史・中世〕

東国に生まれた初の武士政権の誕生と再生の歴史。『吾妻鏡』の原史料から鎌倉政権像が鮮やかに再現され、その時代がよみがえる。各界絶讃の名著。 4—642—07771—5

植民地神社と帝国日本

青井哲人著 (2005)

A 5判 384頁 9,975円 吉川弘文館〔日本史・近代〕

日本の植民地都市に必ず存在した神社が、中心部ではなく市街に面した山の稜線上に据えられたのはなぜか。グローバルな植民都市比較研究の出発点となる。 4-642-03768-3

満鉄

「知の集団」の誕生と死
小林英夫著 (1996)

四六判 234頁 1,995円 吉川弘文館〔日本史・近代〕

満鉄に結集した「知の集団」は官僚統制の経済システムを開発、戦後日本経済の原型を創出した。植民地支配から、戦前・戦後日本の断絶と連続を考える。 4-642-07494-5

聖徳太子 (人物叢書)

坂本太郎著 (1979)

四六判 256頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

日本史上不世出の偉人。史実と伝説を峻別し、推理や憶測を排し透徹の史眼で描く太子伝の決定版。

4-642-05001-9

藤原仲麻呂 (人物叢書)

岸 俊男著 (1969)

四六判 480頁 2,415円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

太政大臣の身から一転して逆賊の汚名を受け、誅に伏した悲劇の宰相。波瀾の生涯を時代と共に精彩に描く。奈良朝史解明の秘鍵を握る人物として必読。 4-642-05069-8

清少納言 (人物叢書)

岸上慎二著 (1962)

四六判 256頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕

和漢の学才にすぐれ、『枕草子』の作者として著名な、平安時代を代表する女流随筆家・歌人。学識と機智に富む稀代の才女の生涯を第一人者が鮮やかに描く。 4-642-05066-3

畠山重忠 (人物叢書)

貫 達人著 (1962)

四六判 240頁 1,890円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

鎌倉武士の典型、美談に富む誠実礼節の勇士。遂に北条氏に滅ぼされる。重忠に関するあらゆる史料を博搜し、数奇な生涯を鮮やかに綴る名著。 4-642-05072-8

赤松円心・満祐 (人物叢書)

高坂 好著 (1970)

四六判 336頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

中世播磨の豪族赤松氏。円心の挙兵、満祐の將軍義教暗殺、政則による再興まで赤松一族の転変の歴史を、代々の事跡を地理、文化も視野に入れ描く。 4-642-05130-9

足利義満 (人物叢書)

白井信義著 (1960)

四六判 304頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

南北朝を合体し有力諸大名を制圧、室町幕府の基礎を固める。明の皇帝もその国書に「日本国王」とした義満の生涯を、時代とともに描く正伝。 4-642-05150-3

ザヴィエル (人物叢書)

吉田小五郎著 (1959)

四六判 176頁 1,680円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

東洋伝道の使徒。わが国最初の布教者。日本での苦難に満ちた2年余の伝道は、歴史上に画期的意義を持つ。その聖なる全生涯を正確・克明に描く。 4-642-05115-5

三好長慶 (人物叢書)

長江正一著 (1968)

四六判 304頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

戦国末期に細川氏の家臣から実力で畿内を制圧。晩年は実権を失う。下剋上の代表者と誤解される教養人の多彩な生涯を、激動の時勢と共にリアルに描く。 4-642-05154-6

大友宗麟 (人物叢書)

外山幹夫著 (1975)

四六判 336頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

キリシタン大名として有名な戦国武将。その領国支配体制やキリスト教保護、対外貿易などを解明。波瀾に富む生涯を豊富な史料を駆使して巧みに描く。 4-642-05139-2

千 利休 (人物叢書)

芳賀幸四郎著 (1963)

四六判 384頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

茶聖利休!偉大な芸術の大天才。厳密な史料批判と鋭い洞察で、その人と芸術を戦国期の世相上に浮彫し、自刃し果てる数奇な生涯を描く。利休伝の決定版。 4-642-05057-4

足利義昭 (人物叢書)

奥野高広著 (1960)

四六判 352頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

室町幕府最後の悲劇の将軍。失脚後も見果てぬ夢抱いて転々諸国を流浪。運命に翻弄された数奇な生涯。巧みな筆致で、義昭とその周辺を追求する好著。 4-642-05182-1

長宗我部元親 (人物叢書)

山本 大著 (1960)

四六判 304頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・中世〕

戦国争乱の中、四国制覇を成し遂げた元親は、秀吉の麾下に属して近世封建体制確立への努力を傾けた。謎と波乱に満ちた生涯を正確な史料に基づき描く。 4-642-05103-1

三井高利 (人物叢書)

中田易直著 (1959)

四六判 320頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・近世〕

近世日本最大の財閥三井家の基礎を築いた初代高利の伝記。大商人の生涯と事業を、史料を駆使して描いた本書は、蓄財の規範としても興味深い。 4-642-05127-9

井伊直弼 (人物叢書)

吉田常吉著 (1963)

四六判 480頁 2,415円 吉川弘文館〔伝記・近世〕

安政の大獄を断行し、志士を弾圧!開国の先覚か違勅の元凶か?史料を駆使して幕末の激動の時代と人物を浮彫りにする。

4-642-05016-7

シーボルト (人物叢書)

板沢武雄著 (1960)

四六判 304頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記・近世〕

鎖国下に西欧科学を伝え、幾多の俊英を輩出すると共に、広く日本を世界に紹介する。蘭学史の権威が世界史的視野に立ち、その功業の史的意義を解明。 4-642-05113-9

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇リバイバル '06
フェア店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2006年10月4日現在

- | | | | |
|------|---------------------|--------|-------------------|
| *札幌市 | 旭屋書店札幌店 | いわき市 | 鹿島ブックセンター |
| 札幌市 | 紀伊國屋書店札幌店 | 水戸市 | 川又書店駅前店 |
| 札幌市 | 北海道大学生協書籍部
クラーク店 | 高崎氏 | 戸田書店高崎店 |
| 旭川市 | 富貴堂 MEGA 店 | *前橋市 | 煥乎堂本店 |
| 小樽市 | 喜久屋書店小樽店 | つくば市 | 丸善筑波大学会館店 |
| 弘前市 | 紀伊國屋書店弘前店 | つくば市 | 丸善筑波大学 |
| 弘前市 | 弘前大学生協 | | 厚生会館書籍部第一学群 |
| *仙台市 | ジュンク堂書店仙台店 | *さいたま市 | 須原屋本店 |
| 仙台市 | 丸善仙台アエル店 | さいたま市 | ブック・デポ書楽 |
| 仙台市 | 紀伊國屋書店仙台店 | *千代田区 | 岩波ブックセンター |
| 仙台市 | 東北大学生協
文系書籍部店 | | 信山社 |
| 山形市 | 八文字屋本店 | *千代田区 | 東京堂書店本店 |
| *郡山市 | 岩瀬書店富久山店 | 千代田区 | 三省堂書店神田本店 |
| | | 千代田区 | 三省堂書店明治大学
駿河台店 |

千代田区	丸善丸の内本店	京都市	ジュンク堂書店
千代田区	ジュンク堂書店 プレスセンター店		京都 BAL 店
千代田区	有隣堂秋葉原店	奈良市	くまざわ書店奈良店
中央区	八重洲ブックセンター	奈良市	啓林堂書店奈良店
新宿区	紀伊國屋書店新宿本店	奈良市	豊住書店
新宿区	ジュンク堂書店新宿店	* 大阪市	旭屋書店本店
* 新宿区	芳林堂書店高田馬場店	* 大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
文京区	東京大学生協 本郷店書籍部	* 大阪市	ジュンク堂書店難波店
	ブックファースト渋谷店	大阪市	ジュンク堂書店天満橋店
渋谷区	紀伊國屋書店新宿南店	大阪市	ジュンク堂書店梅田店
渋谷区	ジュンク堂書店池袋本店	大阪市	喜久屋阿倍野店
* 豊島区	リプロ池袋店	大阪市	旭屋書店なんば City 店
豊島区	啓文堂書店	大阪市	四天王寺書林
吉祥寺	オリオン書房ノルテ店	* 神戸市	ジュンク堂書店三宮店
立川市	有隣堂本店	神戸市	ジュンク堂書店 三宮駅前店
* 横浜市	有隣堂横浜駅 東口ルミネ店	神戸市	海文堂書店
横浜市	有隣堂藤沢店	明石市	ジュンク堂書店明石店
	有隣堂厚木店	姫路市	ジュンク堂書店姫路駅店
藤沢市	Books なかだ本店	西宮市	ジュンク堂書店西宮店
厚木市	うつのみや柿木島本店	鳥取市	今井書店吉成店
* 富山市	リプロ金沢店	米子市	本の学校 今井ブックセンター
* 金沢市	Books なかだ金沢本店	松江市	今井書店 グループセンター店
金沢市	平安堂長野店	岡山市	岡山大学生協書籍部
* 長野市	ちくさ正文館	岡山市	紀伊國屋書店 岡山クレド店
* 名古屋市	マナハウス	倉敷市	喜久屋書店倉敷店
名古屋市	丸善名古屋栄店	広島市	ジュンク堂書店広島店
名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店	広島市	フタバ図書 MEGA
名古屋市	名古屋大学生協書籍部 南部店	* 広島市	フタバ図書 TERA
名古屋市	三省堂書店 名古屋高島屋店	広島市	広島大学生協 北1コープショップ
静岡市	戸田書店静岡本店	徳島市	紀伊國屋書店徳島店
* 豊橋市	精文館書店	松山市	丸三書店本店
* 京都市	ジュンク堂書店京都店	松山市	愛媛大学生協
京都市	旭屋書店京都店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
京都市	アバンティ・ ブックセンター	* 福岡市	ジュンク堂書店福岡店
京都市	京都大学生協	福岡市	丸善福岡ビル店
	ブックセンタールネ	福岡市	紀伊國屋書店福岡天神店
京都市	京都大学生協 吉田生協会館	小倉市	喜久屋書店小倉店
京都市	立命館大学生協 存心館 B&S	小倉市	ブックセンター クエスト小倉店
京都市	同志社大学生協 書籍部今出川店	大分市	ジュンク堂書店大分店
		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
		鹿児島市	ブックジャングル

秋になりました。新しい内閣の下で日本はアジアの一員として、自国の歴史を誠実に語ることが出来るのでしょうか？ 歴史認識は専門家に任せておくものではありません。私たち歴史書懇話会は、日頃棚に置かれていないような本も、全国の書店さんで直接手にとって頂ける様に、折々にフェアを企画して行きたいと準備しております。

10月から、全国100店の書店様のご協力で恒例の「歴懇リバイバルフェア」を開催中です(参加書店さんのお名前は20ページ掲載)。東京では、10月28日(土)・29日(日)に「第16回神保町ブックフェスティバル」が開催されます。よろしくお願い致します。

- 「奈良市、郡山市姉妹都市35周年記念／もっともっと郷土を知ろう 歴史の本特集」フェア 10月6日から下記で開催中(順不同)
 (奈良市) 啓林堂奈良店・啓林堂西大寺店・啓林堂奈良三条店／くまごわ書店奈良店
 (郡山市) 岩瀬書店富久山店／八重洲 BC 郡山うすい店／東北書店
 (福島市) 西沢書店
 (いわき市) ヤマニ書房本店
- TENDO 八文字屋(天童市)一連続ミニフェア
 月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ32冊」のミニフェアを開催中です
- 丸善筑波大学会館店・第一学群書籍部歴懇フェア 10月2日～11月2日
 恒例のフェアです。各社ベスト・歴懇リバイバル・僅少本と多角的に開催です。
- 東京堂書店本店「歴懇・国語国文連続各社フェア」開催中
 第2回目「法蔵館全点フェア」10月
 第3回目「三弥井書店全点フェア」11月
 歴史書懇話会と国語・国文学出版会の各社順番に毎月1社ずつの連続フェアをお願いできました。神保町においでの際はどうぞ、お立ち寄りください。
- 煥乎堂本店(前橋市)古文書十群馬の本十今、好評本フェア 10月
- Books なかだ本店(富山市)・金沢本店(金沢市)同時開催
 「秋です！ 歴史を読みましよう！ 歴史書懇話会大フェア」9月～10月
 地元の読書家の方々に歴史書を堪能して頂くための大フェア！
 歴懇リバイバルも同時開催です。
- 文苑堂書店藤の木店(富山市)歴史書フェア 10月
 売行き良好書中心に小さくまとめた見やすいフェアです
- 今井書店吉成店(鳥取市)「歴懇連続各社フェア」ロングランで開催中！
 10月～11月「学生社フェア」

権者の化現 天神・空也・法然

今堀太逸著

佛敎大学鷹陵文化叢書⑮
 日本国の災害と天神・六波羅蜜寺の信仰と空也・浄土敎の
 布教と法然伝の3部構成で、仏・菩薩が衆生を救うために
 この世に現れた飯の姿について明かす。

▼四六判・三一二頁／定価二四一五円

茶道と恋の関係史

岩井茂樹著

「恋は茶道の精神に反する」とされた——谷崎潤一郎の
 隨筆にあった一節をきっかけに、恋歌と茶道の関係を茶書
 や茶会記に探求。

▼A5判・二三二頁／定価三九九〇円

岩倉使節団における宗教問題

山崎渾子著

岩倉使節団は、その後の明治政府の宗教政策にどのように
 影響を与えたのか、『米欧回覧実記』を中心とした使節団
 関係史料を読み込むことで検証する

▼A5判・二五〇頁／定価三九九〇円

百人一首万華鏡

白幡洋三郎編

日本人の生活全般にわたって深い関わりをもつ百人一首
 を、歌の解釈はもとより、選び方、カルタ、翻訳など、さ
 まざまな角度から紹介。カラー図版多数。

▼B5判・一九六頁／定価二五二〇円

上賀茂のもり・やしろ・まつり

大山喬平監修／石川登志雄・宇野日出生・地主智彦編
 古文書・古記録をはじめ建築や神饌などの姿・形のなかに
 に、失われた日本文化が受けつがれている上賀茂神社の神
 事・歴史・文化を平易に紹介。

▼A5判・四〇〇頁／定価二九四〇円

思文閣出版

〒606-8203京都市左京区田中関田町2-7
<http://www.shibunkaku.co.jp/>

☎075(751)1781
 F075(752)0723

呈内容見本
 (価格は税5%込)

生業の考古学

藤本 強編

《新刊》B5判・三〇頁・二六〇円
 日本はじめ世界各地の「生業」にまつわる種々のテーマ
 を、現在第一線にある研究者が意欲的かつ精緻に掘り下げ、
 「生業」を巡る考古学研究の成果を展開する。

入門者のための

考古学教室・改訂版

山岸良二著

《新刊》四六判・二四三頁・二九五円
 学校の授業形態を模しつつ、考古学に興味をもっている人、
 これから学びたいと思っている人に、分かり易く解説する
 考古学入門書の決定版。旧石器時代の内容を大幅に改訂。

井戸の考古学

《増刷出来》 鐘方正樹著・六八五円

現代考古学事典・縮刷版

安齋正人編・三〇〇円

シリーズ日本の遺跡 菊池徹夫・坂井秀弥企画監修 (四六判)

新刊 ⑭ 両宮山古墳

宇垣匡雅著・八九〇円

二重濠をもつ古備の首長墓

新刊 ⑮ 奥山荘城館遺跡

水澤幸一著・八九〇円

【既刊】

- ① 西都原古墳群 北郷泰道著
- ② 吉野ヶ里遺跡 七田忠昭著
- ③ 虎塚古墳 鴨志田篤二著
- ④ 六塚山と田染荘遺跡 櫻井成昭著
- ⑤ 瀬戸窯跡群 藤澤良祐著
- ⑥ 宇治遺跡群 杉本宏著
- ⑦ 今城塚と三島古墳群 森田克行著
- ⑧ 加茂遺跡 岡野慶隆著
- ⑨ 伊勢斎宮跡 泉雄二著
- ⑩ 白河郡街遺跡群 鈴木功著
- ⑪ 山陽道駅家跡 岸本道昭著
- ⑫ 秋田城跡 伊藤武士著
- ⑬ 常呂遺跡群 武田修著

同成社

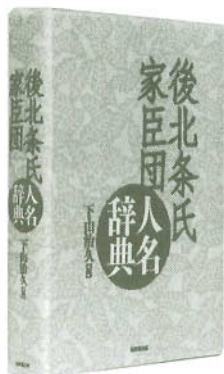
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
 TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail douseisha@nifty.com



後北条氏家臣団人名辞典

下山治久編

一六〇〇人にも及ぶ人名を収録し、詳細な解説をほどこした!



約一〇〇年間にわたり関東に君臨した後北条氏の当主、一族衆をはじめ、重臣、中小の家臣団を、その他、公家、僧侶、神官、商人、芸人など後北条氏と深く関係した人々を広く対象とし、九〇〇家一六〇〇人につき数多くの史料をもとに詳細な解説をしている。A5判 七六〇頁 定価一五七五〇円

売券の古文書学的研究

瀧澤武雄著 土地などの売買契約書である売券について奈良時代から江戸時代までその様式の変化、付帯条件の変化を、文書を掲げ解説し、解説した。A5判

三三三頁 定価六八二五〇円

展望日本歴史 第11巻

室町の社会

久留島典子・榎原雅治編 本書は、室町幕府・在地社会・都市と交通・対外関係の四章に分

け17論文を収録。室町幕府研究が進むなか、格好の史料。A5判

四三三頁 定価五二五〇円

風土記探訪事典

中村啓信・谷口雅博・飯泉健司著 現存する五風土記(常陸・出雲・播磨・肥前・豊後)を中心に逸文も収め、地名の由来・神話・伝承など写真・図版を入れて解説した。風土記の古代遺産の地を探訪できる。

菊判 三二二頁 定価三九九〇円

平成の県別市町村名事典

浅井建爾著 平成大合併後による変遷状況、市町村の概略と特色、及び人口と面積を収録。また一瞥して旧市町村名、新名称がわかるように表示。A5判 定価二六二五〇円

キーワードで引く

古事記・日本書紀事典

武光誠・菊池克美編 記紀の中に出てくる神々・天皇・皇族・神社の他、衣服・装飾品など約七〇〇項目を分類して解説し、出典個所を明記した。四六判 定価三九九〇円

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-17

東京堂出版

TEL 03-3233-3741 (価格は税込)

<http://www.tokyodoshuppan.com>

◆歴史家は20世紀を如何に生きたか？「20世紀の歴史学の形成に巨大な貢献を果たした」一七人の列伝完成！

20世紀の歴史家たち

(刀水歴史全書 45)

第5巻 日本編(続) 十二月始刊行 (左記は収録予定の歴史家と執筆者、配列は生年順)

- 狩野直喜(戸川芳郎) 桑原隲藏(磯波 護) 矢野仁一(狭間直樹) 加藤 繁(尾形 勇) 中村孝也(中田易直)
- 宮地直一(西垣晴次) 和辻哲郎(榎山紘二) 一志茂樹(古川貞雄) 田中惣五郎(本間恂二) 西岡虎之助(西垣晴次)
- 岡 正雄(大林太良) 服部之総(大濱徹也) 羽仁五郎(齊藤 孝) 坂本太郎(笹山晴生) 前嶋信次(窪寺紘二)
- 中村吉治(岩本由輝) 竹内理三(樋口州男) 清水三男(網野善彦) 江口朴郎(木畑洋一) 林屋辰三郎(今谷明)

復刻 雑誌『兵隊』

南支派遣軍報道部刊

「推薦」木村尚三郎・小沢昭一・鶴見俊輔・石田一郎
日中戦争中の広東兵隊が自由に投稿する雑誌「兵隊」があった。初代編集長は火野葦平。兵隊の日常生活や思いが描かれた不思議な雑誌の復刻
四六倍判・36冊4合本・一九四二頁・投稿二二七四人。¥二万二五〇〇

「補遺」37・38・39合本 四六倍判・一九四頁 ¥三三〇〇
続く三冊を発見。最終号は昭和十九年五月二〇日発行

日本人と戦争

歴史としての戦争体験

大濱徹也著(刀水歴史全書 47) 四六二八〇頁 ¥五三〇〇

敵国日本

太平洋戦争時、アメリカは日本をどう見たか？

H・P・アス著／内山秀夫他訳 四六二二五頁 ¥三〇〇〇

太平洋戦争にいたる道

あまのりか人(刀水歴史全書 74)

W・ラライシヤ著／内山秀夫訳 四六二八四頁 ¥五九〇〇

ベトナム戦争のアメリカ

もう一つのアメリカ史

白井洋子(刀水歴史全書 75) 四六二五〇頁 ¥六三〇〇

〔編集〕今谷 明・大濱徹也・尾形 勇・榎山紘二・木畑洋一
既刊 日本編「上・下」世界編「上・下」 四六・平均三〇〇頁 各¥五九〇〇

11月刊

タイ国 近現代の経済と政治

P・ポサイカタ著 C・ペイカー 著

北原敦・野崎明監訳 日・タイセミナー訳 A5七〇頁 ¥一万三三〇〇
学生反乱 1969 立教大学文学部

松浦高嶺・速水敏彦・高橋 秀 四六二二八頁 ¥五九〇〇
白人とは何か？ ホワイトネズ・スタディーズ入門 四六二二五頁 ¥三三〇〇

藤川隆男編(刀水歴史全書 73) 四六二二五頁 ¥三三〇〇
貧乏貴族と金持貴族 M・L・ラッシュ著／永井三明監訳和栗了和栗珠里訳 A5二〇〇頁 ¥四〇〇〇

シベリアンコントロールとデモクラシー
タイアモンド、プラッタナー編／中道寿監訳 A5二二六頁 ¥三三〇〇

モンゴルの歴史 遊牧民の誕生からモンゴル国まで
宮脇淳子著(刀水歴史全書 59) 四六二二〇頁 ¥四九〇〇

第一回日本村落研究会研究奨励賞受賞
家と同族の歴史社会学 藤井 勝 有賀・喜多野論争に続き、家と同族を歴史学的に論じ、日本
社会の根原に迫る。 A5 三三八頁 ¥二万八五〇

〔価格は税込〕

〒101-0065 東京都千代田区
西神田2-4-1

東京大学本館
東方学会



刀水書房

Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234
http://www.tousuishobou.com

29 石造物が語る中世職能集団

山川均 著

中国渡来の石工たちは優れた石造物を残した。彼らの活躍ぶりを紹介するとともに、当時の仏教社会を垣間見る。

41 対馬からみた日朝関係

鶴田啓 著

貿易や外交において対馬藩が果たした役割や藩政の推移をとおして、近世の日朝関係を描く。

46 天文方と陰陽道

林淳 著

渋川春海以来の幕府天文方と朝廷の陰陽頭・土御門家の動向を追いながら、近世における改暦について考察する。

シルクロード
華麗なる植物文様の世界

MUSAEA JAPONICA ⑤

古代オリエント博物館・松岡美術館・横浜ユーラシア館 編

葡萄唐草や蓮華文をはじめ、シルクロードを通して地中海からアジア各地に伝わり、人々に親しまれてきた植物文様の展開を追う。
A5判 1288頁 17000円

世界歴史の旅 中国古代文明

鶴間和幸／黄曉芬 著

A5判 多色刷 29400円

中国各地に点在する古代文明の遺跡を、カラー写真をふんだんに盛り込み紹介する。臨場感あふれる旅行案内。

前近代における王権----- 大津 透 編

「王権」をキーワードに、時代の枠を超えて国家や権力・権威について考える試み。2005年史学会大会日本史部会シンポジウムの報告に諸論考を加えて書籍化。
A5判 予価4200円

山川歴史モノグラフ ⑪

言説空間としての大和政権----- 松木俊暁 著

〔日本古代の伝承と権力〕 噂や伝承などの「語り」といった心性的側面に焦点をあて、6～7世紀における大和政権の支配体制と権力構造を明らかにする。服属・服従する被支配者層の主体性という新しい観点から、「語り」を題材に古代社会を再検討する。
A5判 予価5250円

年報 都市史研究 ⑭

都市の権力と社会＝空間----- 都市史研究会 編

2005年の都市史研究会のシンポジウムの書籍化。シンポジウムの内容を特集するほか、論文・研究動向・書評・新刊紹介などを収載。3880円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

人間にとって戦争とは何か。企画委員II小和田哲男・関幸彦・森公章・吉田裕
古代の動乱からアジア・太平洋戦争まで、日本の内乱・戦争の実態に迫る。

戦争の日本史

全23巻刊行開始

9月より毎月1冊刊行
各巻2000円(内容案内送呈)

秀吉の天下統一戦争

小和田哲男著

関ヶ原や小田原攻めなど、秀吉不败の全貌に迫り、統一戦争が現した時期を問う。●9月の新刊

東北の争乱と奥州合戦

関幸彦著

前九年・後三年・奥州合戦。伝説の宝庫を探り、東北と源氏との戦争の全貌に迫る。●10月の新刊

都市の暮らしの民俗学

全3巻・刊行開始
新谷尚紀編
岩本道弥編
内容案内送呈

1 都市とふるさと

都市への憧れと、故郷へのノスタルジア。都市と地方の
関係はどう変化してきたのか。2004年9月●9月の新刊

2 都市の光と闇

魅惑に満ちた光の世界と繁華街の暗黒。人々は何を求めて街
へ出るのか。都市の多様な姿を探る。2004年●10月の新刊

3 都市の生活リズム

都市に生きる人びとの生活と一生を探る。●11月発売

宮田 登 日本を語る全16巻

毎月1冊刊行中
内容案内送呈

ユートピアとウマレキヨマリ

27年9月の新刊

都市の民俗学

字の神・梅若語話・番町屋敷・赤マント・口裂け女。都市民俗
学の先達を語ら、不思議空間の物語。27年9月●10月の新刊

徳川光圀

「人物叢書24」鈴木映一著「水戸黄門」で知られ
る。一代水戸藩主。『大日本史』編纂や蝦夷地探検な
ど、起伏に富む生涯を活写し、従来の光圀像を提
え直した本格的伝記。2004年10月の新刊

卑弥呼・日本武尊・聖徳太子から織田信長・千利休・細川ガラシャまで、三三七二人を網羅。平野邦雄・瀬野精一郎編

日本古代中世人名辞典

歴代天皇・女院・皇子・摂関・豪族・武士・
僧侶・社会・芸能者・外国人・伝承や物語
上の人物など個性あふれる多彩な人物
を網羅。21000円●10月の新刊

歴史手帳

愛用されて半世紀！●10月発売
2007年版
640円

古文書の読み解き方

天野潤文・美松幸男・宮原一郎著 古文書を解読に必須の言葉や用法(三)例を厳選し、くすし
字解読の基礎をわかりやすく、効果的に習得できる待望の入門書。20000円●9月の新刊

近世地域史フォーラム

全3巻 ●列島史の南と北
刊行開始
藤池勇夫・真栄平昭彦編 琉球の境界性・神代先住民交易とアイヌ、「蝦夷征伐」と地域史
認識など、南北地域の特質を東アジア世界との関わりから解明。『9月10日●10月の新刊
●11月の新刊』(続刊)●地域史の視点①：農村、弘前●地域史と社会①：大田、新・谷山正道編

日本災害史

北原糸子編 飢饉・地震・噴火・津
波・台風・洪水・高潮など、人々
はいかに災害を乗り越えてきた
のか。4410円●9月の新刊

ジェンダー史を学ぶ

長野ひろ子著 ジェンダー史とは何か。その可
能性を拓く入門書。20000円●10月の新刊

歴史文化ライブラリー

各1700円 ●1冊1000円

217 戒名のはなし

●9月の新刊
藤井正雄著 なぜ死んだら戒名が必要なの
か。知っていると知らない、戒名の謎。

218 中世武士の城

●9月の新刊
藤原清一著 天守閣はなぜあったのかまで
わかった中世城館の実像。城郭ファン必読。

220 江戸時代の身分願望

●10月の新刊
深谷亮己著 身分上りと上下無し。近世人の出
世願望と平等意識とは何か。●10月の新刊

近世農民生活史

新版 児玉幸多著 農民と農村の全てが分かる不朽の名
著。待望の新装版で絶版。25000円●9月の新刊

古代住居のはなし

石野博信著 古代の人々は、
どんな家に住み、どんな
生活をしていたのか。20010円●10月の新刊

平城京木簡三

二条大路木簡一
奈良文化財研究所編集・発行 日本古代史研究に前期をなす第一級史料。二条大路木簡一
の正報告書第一編。高精度印刷を駆使して原寸大で完復元。20000円●10月の新刊

平城京木簡二

二条大路木簡一
奈良文化財研究所編集・発行 日本古代史研究に前期をなす第一級史料。二条大路木簡一
の正報告書第一編。高精度印刷を駆使して原寸大で完復元。20000円●10月の新刊

平城京木簡一

二条大路木簡一
奈良文化財研究所編集・発行 日本古代史研究に前期をなす第一級史料。二条大路木簡一
の正報告書第一編。高精度印刷を駆使して原寸大で完復元。20000円●10月の新刊

150周年
1857年

吉川弘文館

2006年版「出版図書目録」送呈 (価格は税込)
〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2番8号
電話03-3813-9151(代表) FAX.03-3812-3544
http://www.yoshikawa-k.co.jp/

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 浩>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 京都大学学術出版会 606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大会馆内 <担当者・堤 紀子>
TEL. 075-761-6182 FAX. 075-761-6190
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中関町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・蜂谷起義和>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2006年10月23日発行・第168号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店